

タイ最高行政裁判所調査官の公調委来訪について

公害等調整委員会事務局



(左からタイ最高行政裁判所 Wararat Kaikhoontod 調査官、富越和厚公害等調整委員会委員長、大久保規子大阪大学大学院法学研究科教授)

平成 27 年 4 月 28 日（火）、タイ王国最高行政裁判所の Wararat Kaikhoontod 調査官が、我が国の公害紛争処理制度、紛争処理事例の調査のため、環境法を専門に研究されている大久保規子大阪大学大学院法学研究科教授と共に公害等調整委員会（公調委）を来訪されました。

当日は、富越公調委委員長からの歓迎の挨拶の後、公調委事務局から、公害紛争処理制度及び公害紛争処理の審理手続について説明を行った後、我が国における公害紛争と民事訴訟・民事調停の差異や、公調委における専門委員の活用状況等について質疑応答が行われたほか、公調委からもタイの訴訟制度や、同国における近年の環境紛争事例等について質問するなど、活発な意見交換が実施されました。

我が国の公害紛争処理制度は、大規模公害の余燼の消えない昭和 45 年に創設されて以降、産業や国民のライフスタイル等の変化に対応しながら、多くの公害事件を解決に導いてきました。その過程で得られた様々な知見は、他国の公害問題に解決の糸口を与える上で、大いに役立つものと考えられます。公調委は、これからも公害問題に取り組む諸外国との交流を続けてまいります。